

気候情報

2016年6月の日本の天候

- 西日本太平洋側では降水量はかなり多かった
- 北日本では降水量はかなり多く、北日本日本海側では日照時間は少なかった
- 沖縄・奄美では気温はかなり高かった

6月の天気概況

期間前半は、梅雨前線は沖縄・奄美付近から本州南岸の間で南北に変動した。期間後半は、太平洋高気圧が日本の南から沖縄付近で強く、日本付近には南から暖かく湿った空気が流れ込みやすかったため、梅雨前線の活動は活発だった。期間後半は、梅雨前線は本州付近に停滞し、特に西日本で活動が活発化したため、月降水量は西日本太平洋側ではかなり多く、西日本日本海側では多かった。

上旬：梅雨前線が4～5日にかけて本州の南岸まで北上し天気が崩れたため、九州南部、九州北部、四国、中国、近畿、東海の各地方は4日ごろ、関東甲信地方は5日ごろに梅雨入りした（速報値）。7日は前線の影響を受けて、西日本太平洋側を中心に局地的に大雨となった。

旬平均気温は、沖縄・奄美ではかなり高かった。北・東・西日本では平年並だった。

旬降水量は、北日本では多かった。一方、東日本太平洋側ではかなり少なく、東日本日本海側では少なかった。西日本、沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本日本海側では少なかった。一方、北日本太平洋側、東日本、沖縄・奄美では多かった。西日本では平年並だった。

中旬：北日本では低気圧が通過することが多かったため、降水量はかなり多く、日照時間は少なかった。特に北日本太平洋側では、旬降水量が平年比270%となり、1961年の統計開始以来6月中旬としては最も多かった。北陸地方、東北地方では、13日ごろに梅雨入りした。沖縄地方では16日ごろ、奄美地方では18日ごろに梅雨明けした（いずれも速報値）。

旬平均気温は、東・西日本、沖縄・奄美ではかなり高く、北日本では高かった。

旬降水量は、北日本ではかなり多く、西日本では多かった。東日本、沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本、西日本太平洋側では少なかった。一方、沖縄・奄美では多かった。東日本、西日本日本海側では平年並だった。

下旬：太平洋高気圧が日本の南から沖縄付近で強く、本州付近には南から暖かく湿った空気が流れ込みやすかったため、梅雨前線の活動は活発で西日本から東日本の南岸に停滞することが多かった。特に、20日～21日にかけて熊本県甲佐では1時間降水量150.0mm（観測史上1位の値更新、統計開始1976年）の猛烈な雨となった。沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆

われ晴れて日射が強かったことに加え、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、旬平均気温は平年差1.5℃となり、1961年の統計開始以来6月下旬としては最も高かった。

旬平均気温は、沖縄・奄美ではかなり高かった。北・東・西日本では平年並だった。

旬降水量は、西日本太平洋側ではかなり多く、北・東日本太平洋側、西日本日本海側では多かった。北・東日本日本海側、沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、西日本では少なかった。一方、北・東日本日本海側、沖縄・奄美では多かった。北・東日本太平洋側では平年並だった。

6月の気候統計

月平均気温：沖縄・奄美ではかなり高く、東・西日本では高かった。北日本では平年並だった。

月降水量：北日本、西日本太平洋側ではかなり多く、西日本日本海側では多かった。東日本では平年並、沖縄・奄美では少なかった。

月間日照時間：北日本日本海側、西日本では少なく、東日本日本海側、奄美・沖縄では多かった。北・東日本太平洋側では平年並だった。

（気象庁観測部情報管理室）

6月の記録（1位更新のみ）

・月平均気温高い方から（℃）

石垣島 29.9

・月降水量多い方から（mm）

釧路 287.0 福山 530.5 など6地点

2016年6月の平年差（比）図

